

日本ビタミン学会第 69 回大会のお知らせ

「ビタミン・バイオフィクターによる健康寿命の延伸」

会期：平成 29 年 6 月 9 日（金）～10 日（土）

会場：横浜市開港記念会館（横浜市中区本町 1-6）

名誉大会委員長：永津 俊治

（名古屋大学名誉教授，東京工業大学名誉教授，藤田保健衛生大学名誉教授）

大会委員長：一瀬 宏（東京工業大学 生命理工学院 教授）

大会実行委員：阿部 皓一，天ヶ瀬 晴信，北吉 正人，柴田 克己，鈴木 恵美子，寺本 祐之，

丸山 和佳子，山本 恵子，原 怜

大会事務局：東京工業大学生命理工学院一瀬研究室（担当：一瀬 宏，原 怜）

〒226-8501 神奈川県横浜市緑区長津田町 4259-B7

e-mail: vitamin@bio.titech.ac.jp

*** 第 69 回大会一般演題発表は、口頭発表とポスター発表にて行います。**

（一般演題受付は、平成 29 年 1 月 5 日（木）～1 月 31 日（火）日本ビタミン学会ホームページにて行います。）

《基調講演》

Dr. Paul Coates (Director, Office of Dietary Supplements, NIH, USA)

「Dietary Supplements and Health Promotion: Assessing the Evidence」

《特別講演》

江崎 禎英（経済産業省商務情報政策局ヘルスケア産業課長）

「超高齢化社会における次世代ヘルスケア産業育成の目的と意義」

《教育講演》

田中 清（京都女子大学 家政学部食物栄養学科）

「健康寿命の延伸におけるビタミンの役割とその社会的意義」

《シンポジウム1》

「ビタミン・バイオフィクターでアンチエイジング」

オーガナイザー：丸山 和佳子，石神 昭人

丸山 和佳子（愛知学院大学 心身科学部健康栄養学科）

「神経老化に対する栄養学的介入の現状と未来」

石神 昭人（東京都健康長寿医療センター研究所 分子老化制御）

「抗酸化ビタミン C, E によるアンチエイジング」

井上 聡（東京都健康長寿医療センター研究所 健康長寿ゲノム探索）

「ビタミン K とロコモティブ症候群」

荒井 秀典（国立長寿医療研究センター）

「フレイルに対するビタミン・バイオフィクターの効果」

《シンポジウム 2》

「アミノ酸代謝を調節する補因子研究の最前線」

オーガナイザー: 柴田 克己, 一瀬 宏

一瀬 宏 (東京工業大学 生命理工学院)

「アミノ酸代謝におけるビオプテリンの生理的重要性について」

下村 吉治 (名古屋大学 大学院生命農学研究科)

「BCAA 代謝を調節するビタミン B₁ と B₆」

柴田 克己 (滋賀県立大学 人間文化学部)

「トリプトファン代謝を支配する B 群ビタミンの栄養状態」

《シンポジウム 3: 日本ビタミン学会・日本病態栄養学会合同シンポジウム》

「臨床におけるビタミン・バイオフィクターの最近の話題」

オーガナイザー: 竹谷 豊, 津川 尚子

加藤 明彦 (浜松医科大学附属病院血液浄化療法部)

「CKD 患者の栄養管理におけるビタミン・バイオフィクター」

幣 憲一郎 (京都大学医学部附属病院疾患栄養治療部)

「疾患栄養治療・栄養指導における各種ビタミンの意義」

仲谷 慎也・稲葉 雅章 (大阪市立大学代謝内分泌病態内科学)

「糖尿病とビタミン」

高田 龍平 (東京大学医学部附属病院薬剤部)

「薬剤とビタミンKおよびビタミンEの相互作用」

《特別企画》

永津 俊治 (名古屋大学名誉教授, 東京工業大学名誉教授, 藤田保健衛生大学名誉教授)

「ビタミン・バイオフィクター科学の後人へのメッセージ」